

ほっと一息通信

こんにちは。子供のころ「いっこ柿」をよく食べていた上野邦雄です。

私の家は昔から甘い柿がなる木がない家でした。(寂)



先祖が植えなかったのか又は育たなかったのか私の家だけは水島柿や富有柿がありませんでした。

しかし、渋柿はあるのです。(笑)

渋柿を代表する日本柿です。

この木は昔からあるのか大きい木が2本庭にありました。(竹ざおで届かないほど大きい)

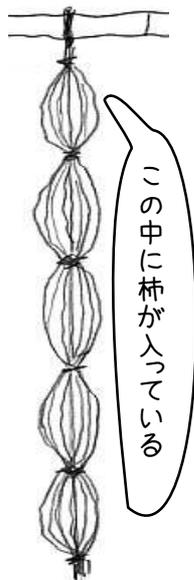
私はこの渋い大きい柿が、実はいやだったのです。

なぜなら近所や友達の家はみんな甘柿の木があるのに私のところだけは渋柿だけでしたので、本当にさびしかったことが今でも心に残っています。

ちょっと柿の木の話が長くなりましたが、この日本柿は、また熟すと渋みがどこへ行くのか甘く美味しくなります。

私の柿の思い出はこの日本柿のじくし(熟した柿)を食べたことです。

わたしの祖父は熟さない柿を取って、わらで立に4個から5個並べて包んで家の広間の天井から何本も吊り、熟すのを待って熟したのものから1個ずつ取り出してそのまま食べるか又はいっこ(米の粉だと記憶して



います。)を混ぜてよく食べました。

あのころは食べる物がなかったのかよく食べました。

でもおいしかったです。

今は庭には昔からの木が一本もなく、面影がありません。田んぼに隣のおじさんからだいぶ前に、

近くの畑に何と水島柿と富有柿の木(その時すでにたくさんの実がなっている木)が要らなくなった



のでいらんかと言われ、早速貰って植えました。

写真に文章の中の柿の木ではありません

これでやっと甘柿の木がある家になりました。

(笑)(今年は5個しか実が付きませんでした。(笑))

今度、日本柿の木を植えようかと思っています。

甘柿の話のついでですが、私のお客様から庭の柿の木の枝をすっきり切ってほしいと言われ、ものすごく柿の実がたわわになった枝を切りました。

その帰りに食べつくせないほど頂いてあっちこちとおすそわけしました。

たいへん甘く、おいしく頂きました。

谷内様ありがとうございました。

また枝が伸びたらぜひ私を呼んでください。(笑)

それとちょっと調べてみたのですが、柿の実は栄養がいっぱいあり、体にとってもよいそうです。

柿をたくさん食べて健康になりましょう。(笑)

菜園作りその後の後

今年の野菜作りは駄目でした。

きゅうりとなすは全滅です。

ほとんど植えたら植えっぱなしで何もしないのか、又は畑の土に栄養がないのか、連作なのかわかりませんがうまく行きません。

よその人から見たら、草が生い茂ってほったらかしなので当たり前だと思われています。実はその通りで

なまくらでほったらかしにしています。(笑)

でも他の人の畑より収穫が少ないですが、ツルマメとササゲが取れました。

ツルマメはなっている実の約半分は虫に食べられていました。

今年は去年自分で取ったササゲの種を植えました所なんとか収穫が出来ました。

来年も自家製の種をまいて育ててみたいと思っています。



未熟で何が植えてあるかわからない(笑)



種をまいたのが11月なのか
ぜんぜん大きくならない大根

インターネットで無農薬・無肥料の種を何種類か買って11月ごろ大根とネギとほうれん草をまいたのですが、ぜんぜん育ちません。

植えるのが遅かったのかも知れません。

それと庭にどうしてかイチゴが生えて、ほおっ

て置いたら広がってきているではありませんか。

私はイチゴを植えたかったので早速ほじって畑に植え込みました。

実は食べませんでした。小さい実がついていたので間違いがないと思いますが、ヘビイチゴかとも思っています。どうなるか来年が楽しみです。(笑)



これも芽が出たままで
草かほうれん草かわからない

すばらしい本です

私はたまに本屋さんへ行きます。これは私の楽しみの一つです。そこで目に入った本は「リンゴが教えてくれたこと」と言う本です。著者は青森県岩木町のリンゴ農家の方です。木村さんは20歳代から家のリンゴ農園を継いで無農薬・無肥料の栽培を成功させたすごい方です。(私と同年)



この本はリンゴだけでなく、自然界の仕組みを独学(現在の農法は世界中、農薬・化学肥料・堆肥などを施すのが当たり前なので参考になる物は無い中)で観察と実践でものすごい苦勞をしてリンゴや米、野菜、などを無農薬・無肥料・有機堆肥などを使わずして、一般のリンゴや野菜と同じものを育てることが出来ることを証明しました。

これを読んでいると自然栽培は一般に言われている農法のほとんどが逆のことばかりだそうです。

私が驚いたのは東北のある農協が自然栽培を取り入れて成功していることです。

この本の中身をご紹介したいのですが、紙面の都合で書きませんが、正月の休みのときにぜひ読んでいただきたい本（単行本で千円以下）です。

この本を読まれますと、今まで食べていたお米や有機野菜の概念がくつがえります。

うらやましい土地

今回ご紹介するのは高岡市佐野にお住まいの佐藤二作様ご夫妻です。

佐藤様には家一軒建てられるような増築、リフォームをさせていただき、そのときからずっとお付き合いをさせていただいております。



今回も一部リフォームさせていただきました。

佐藤様ご夫妻、息子さん夫婦ともやさしい

ご家族です。たまにお邪魔させていただいております。

それと何よりうらやましいのは家に自噴している井戸があることです。

今時自噴して一日中流れっぱなし、もったいなと思います。



写真ではわかりづらいですが自噴しています

もちろん家の飲料水は井戸水です。佐野や木津地区は地下水が豊富でたいへんよい所だと思っています

です。

佐藤様は恵まれたきれいな井戸水で冬は暖かく、夏は冷たく本当にうらやましい限りです。

私の事務所にも井戸は掘ってありますが、コップに入ると透き通っていて飲めるかと思いますが、口に少し入れただけで臭いと言うか表現できませんが、すぐ吐きださなければなりません。

それほどひどい地下水です。

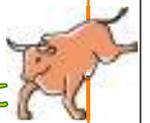
ですから融雪と洗車ぐらいです。

鉄分がいっぱい入っているので、洗車しても車が赤く錆びるか心配で最後に水道水を掛けています。（笑）

同じ井戸を持っていても所が違うとこれほど違うのかと思います。

話は脱線してしまいましたが、佐藤様今回も本当にありがとうございました。

今年 一年間ありがとうございました



今年の後半もたまたましていてレターを出すのが遅れてしまいました。

私は木村秋則さんの「リンゴが教えてくれた」を読んで無農薬・無肥料が植物や動物・人に一番適していると言うかこれが大自然のプログラムなのに、人間が勝手に植物のことを想像して育てていることが地球を狂わしている一因だと思いました。

木村さんは自然栽培を広めようと日本はもちろん世界中に行っておられるようです。

東北のある農協は自然栽培を取り入れて日本中からすごい人気だそうです。

農薬や化学肥料を売っていたのに、よく思い切ったものと感じます。

私の畑も来年からこの本に書いてあるようなやり方をしてみようかと思っています。

雑草を生やすのが一番良いらしいので、これ幸いとなおさら草刈をしないうことにしました。（笑）

来年も自然に逆らわない健康住宅造りと野菜（笑）作りにまい進します。

今年一年本当にお世話になりました。

ありがとうございます。来年もよろしくお願いします。

では、よいお年をお迎え下さい。

上野邦雄